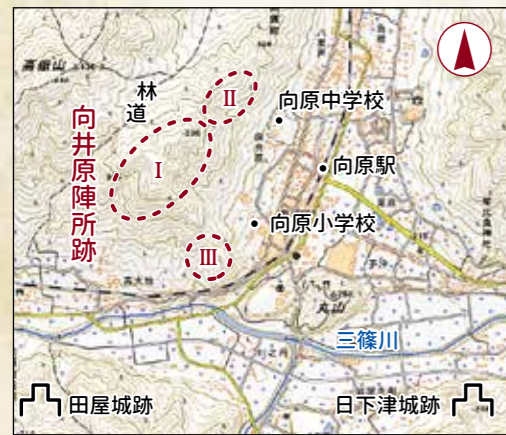




向井原陣所跡

向井原方面の遠望
(東側から撮影)

- 登城ガイド**
- ・標高……402m
 - ・比高……200m(向原駅側から)
 - ・所要時間……北側の林道から20分



坂周辺位置図(国土地理院地図に加筆)

安芸高田 歴史紀行



シリーズ「お城拝見!」第87回

向井原陣所跡

《向原町坂・戸島・長田》

安芸高田市教育委員会
文化財係主査
秋本 哲治

立地と遺構
向原駅の背後にそびえる、坂地区一帯を見下ろす南北に長い尾根上にあります。ここから南東2kmに日下津城、北6kmに郡山城があります。遺構は東西700m、南北700mの広大な範囲にIとIIが、さらに南東の尾根先端部にもIIIが残ります。中心は山頂部のIですが、一般的な地形に沿った粗く細長い平坦地が、各尾根に延々と続いています。山城にしては、人工的でありながら斜面の加工が最小限であり、防御を意識した構造がみられません。

謎の大規模遺構

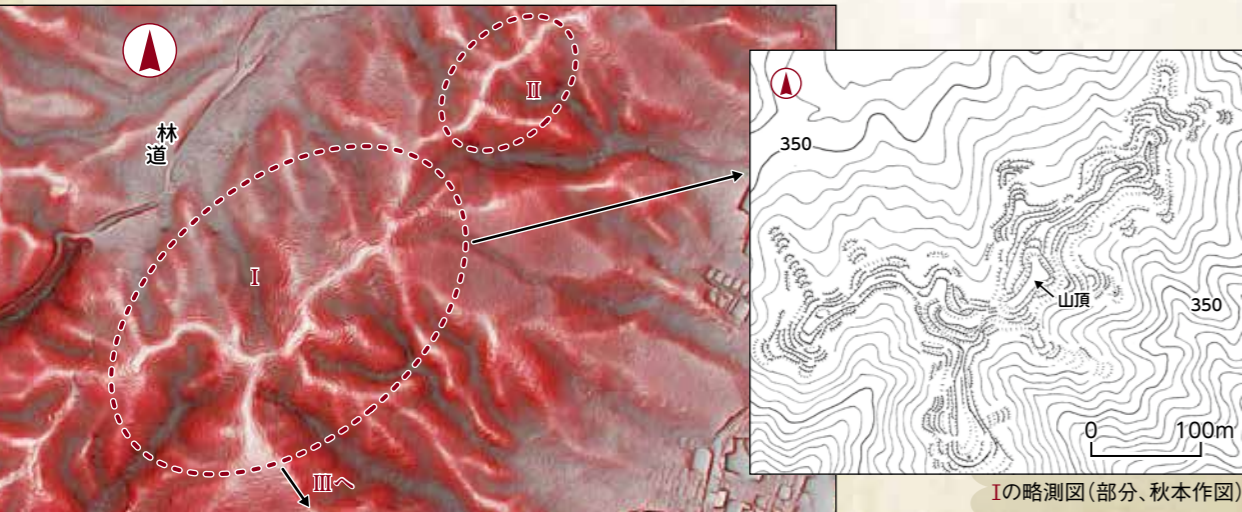
安芸高田市の航空レーザー測量による赤色立体地図を基に、これまで多くの城跡を新たに確認しました。今回紹介するのは、その中でも特に大規模な遺構です。現状からは城跡より陣所(陣地)跡に近いと思われるのですが、現時点では遺跡とされていませんので、現地の字名から便宜上「向井原陣所跡」として紹介します。

考察

こうした城跡に似ているものの防御性の低い遺構は、本市では尼子氏が吉田に侵攻した郡山合戦時の大内軍等の陣所跡に見られます。それらの特徴①中心的な平坦地はあるが粗い②地形に沿った多数の細長い平坦地が残る③斜面の造成は小規模で堀切は少ないなどが一致することから、これも陣所跡と推測できます。外部勢力による短期間の在陣であれば、伝承が全くないことも理解できます。

一方、史料上では1540年9月下旬に、大内氏の重臣、杉隆宣と竹原の小早川興景が毛利氏の援軍として坂に在陣しており、26日に尼子軍と池の内で合戦しています。その陣所はこれまで坂の日下津城とされてきましたが、大軍が在城できる規模ではありません。吉田へのアクセスや先述した遺構の特徴も踏まえると、ここが杉原らの陣所であった可能性もあります。今後も引き続き検討していきます。

向井原陣所跡(I・II)付近赤色立体地図



Iの略測図(部分、秋本作図)



交通事故と国民健康保険

交通事故など、第三者(加害者)の行為で負傷した場合の医療費は加害者に負担義務がありますが、国民健康保険で治療を受けた場合、その医療費を市が一時的に負担し、後から加害者に請求する必要があります。国民健康保険で治療を受けた場合は、保険医療課医療保険年金係へ速やかに届け出てください。

■必要書類等

- ・第三者行為における届出書一式(保険医療課医療保険年金係にあります)
- ・印鑑
- ・国民健康保険証
- ・交通事故証明書
- ・世帯主、治療を受けた方の個人番号が確認できるもの



示談は慎重に!

届け出の前に加害者側と示談をして医療費を受け取ると、市が後から行う加害者への費用請求ができなくなる場合があります。交通事故の場合は、後遺症などの問題もありますので、示談の前に保険医療課医療保険年金係に相談してください。
※レセプト請求により、交通事故での疾病の疑いがある場合には、確認の連絡をします。

問 保険医療課 医療保険年金係 ☎ お太助フォン 42-5619

知ってほしい、**広報あきたかた** 広報あきたかた

伝えたいを **広告募集!** 叶えます。

<p>商品提供で無料PR <small>※懸賞付きアンケート開催時</small></p>	<p>市内全てのご家庭に 全戸配布</p>
<p>掲載料金 12,500円/月から</p>	<p>発行部数 約13,000部/月</p>

お気軽に お問い合わせください

広告掲載イメージ

こんな感じで掲載されます!

総務課 秘書広報室 ☎ お太助フォン 42-5627 ▶ 市ホームページ 広報紙印刷物広告募集要領